shindaiwa®

エンジンルートカッター

取 扱 説 明 書

型 式

E757RC/400

E757RC/500W

⚠ 警告
ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。 取扱説明書の指示内容を守ってください。 守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

目　次

安全にご使用いただくために 3

1 付属品の確認 6

2 各部の名称と警告表示ラベル 7

3 作業の準備 8
3-1. ガイドバーとソーチェーンの取り付け 8
3-2. ソーチェーンの適正な張り 9
3-3. 燃料の準備 10
3-4. チェーンオイルの準備 11
3-5. ウインターキット 12

4 運転 13
4-1. エンジンの始動 13
4-2. エンジンの停止 15

5 根切り作業 16

6 点検・整備 18
6-1. ソーチェーンの目立て 18
6-2. 点検・整備の目安 19
6-3. 点検・整備要領 20

7 保管 23

8 故障対策 24
8-1. 故障診断表 24
8-2. 製品の廃棄 24

9 仕様 25

10 その他 26
10-1. 補用品と消耗品 26

安全にご使用いただくために

警告表示について

⚠ 危険	⚠ 警告	⚠ 注意
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものです。	**その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があるものです。**	**その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるものです。**

その他の表示について

	丸に左斜線の入ったこの記号は、表示されているものがすべて禁止されていることを表します。

重要
重要として囲まれた文章は、この取扱説明書で説明されている製品の使用、点検、保守、保管に関する重要な注意事項です。

シンボルマークについて

シンボルマーク	意味	シンボルマーク	意味
	ご使用前に取扱説明書をよく読み、正しく作業すること		エンジン停止
	作業中は保護具を必ず着用すること		キックバック注意
	通気の悪い場所で製品を使用しないこと		チェーンオイル吐出量の調整
	火災に注意すること		混合燃料
	電気ショックに注意すること		チェーンオイル
	高温部に注意すること	L	キャブレタの低速調整
	手の切断に注意すること	H	キャブレタの高速調整
	手の巻き込まれに注意すること	T	キャブレタのアイドリング調整
	飛散物に注意すること		

安全にご使用いただくために

重要なお知らせ

⚠ 警告

製品をご使用になる前に、取扱説明書を必ずお読みください

取扱説明書



- **この取扱説明書には、製品の組み立てや操作、点検・整備に必要な事項が書かれているので、よく読んで理解してください。**
- **この取扱説明書は、いつでも読めるように保管してください。**
- **製品の改良のため、予告なしに内容を変更することがあります。**
- **使用している図は説明をわかりやすくするため、現品と異なる場合があります。**
- **損傷により読めなくなったり、紛失した場合は、販売店に相談または、株式会社やまびこホームページを参照してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用目的以外の使用禁止

- **この製品は、地中の木の根を切断するために作られたものです。記載されている用途以外に使用しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の改造禁止

- **製品を改造しないでください。**

事故や重傷を負う原因となります。

点検・整備をしていない製品の使用禁止

- **定期的に点検・整備をしてください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の貸与、譲渡

- **製品を貸すとき、譲るときは、この取扱説明書も渡してください。**

事故や重傷を負う原因となります。

製品の使用者

- **体調不良、疲労している、酒類を飲んでいる、薬物を服用しているなど、体調が万全でないときは使用しないでください。**
- **次のような人は使用しないでください。**
  - **妊娠している人**
  - **16 歳未満の人**
  - **取扱説明書の内容を理解していない人**

事故や重傷を負う原因となります。

- **この製品から発生する電磁波が、ペースメーカーなどの植込み型医療機器に影響を及ぼす可能性があります。健康上のリスクを避けるため、植込み型医療機器を使用している人は、製品を使用する前にかかりつけの医師、または植込み型医療機器の製造元に相談してください。**

レイノー現象の症状に注意



- **指に不快感、赤み、腫れがあり、白くなったり感覚がなくなったことのある人は、製品を使用する前に医師に相談してください。**

指にレイノー現象と呼ばれる症状が現れることがあります。

保証書

- **使用目的以外の作業による製品の故障、あるいは改造による故障の場合は、メーカー保証の対象外になりますのでご注意ください。詳しくは保証書をお読みください。**

安全にご使用いただくために

⚠ 警告

健康管理

❍ 休憩をとりながら余裕を持って作業をしてください。手足や身体を温かくしてください。
❍ 作業中に体調が悪くなった場合はすぐにエンジンを停止し、作業を中止してください。
❍ 操作時間は以下を目安としてください。

- **1 日の操作時間：2 時間以内**
- **1 回の連続操作時間：10 分以内**
- **1 回の連続操作後の休止時間：操作時間と同じ時間程度**

健康障害を受ける恐れがあります。

服装の点検

❍ 身体に合った作業衣を着用し、次のことを守ってください。

- **上着（長袖）のボタン、ファスナを完全にし、袖口をきちんと締める**
- **ズボンはすそ締まりの良い長ズボンとする**
- **ネクタイや装飾品は着用しない**
- **髪の毛は肩より上でまとめる**

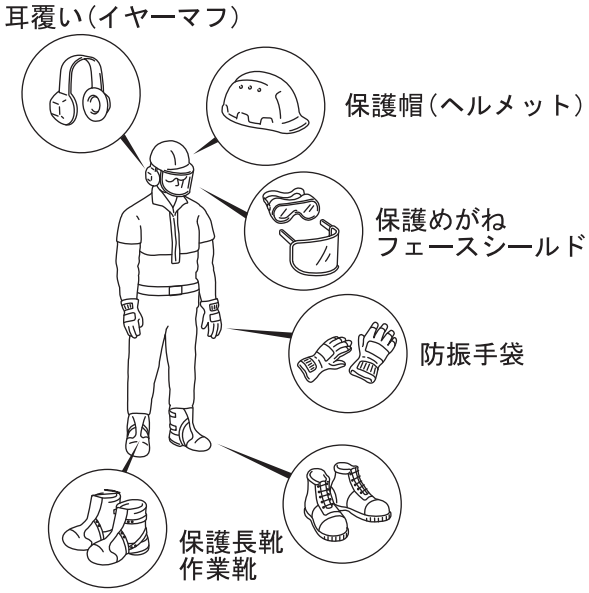
事故や重傷を負う原因となります。

保護具の着用

❍ 下記の保護具を着用してください。

- **保護帽（ヘルメット）：頭部の保護**
- **保護めがね（ゴーグル）またはフェースシールド：目や顔の保護**
- **耳覆い（イヤーマフ）や耳栓：聴力の保護**
- **防振手袋：寒さや振動から手を保護**
- **滑りにくい丈夫な作業靴（先芯入り）：足の保護**
- **防護ズボン、脚カバー：脚の保護**

視覚障害、聴覚障害、重傷などを負う原因となります。



❍ 必要に応じて下記の保護具を着用してください。

- **防塵マスク：呼吸器の保護**
- **防蜂網：蜂の襲来対策**

製品の使用環境・作業環境

❍ 次のような場合は製品を使用しないでください。

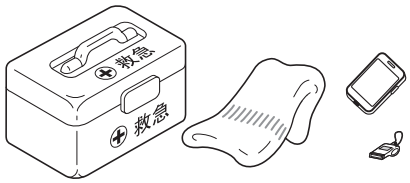
- **荒天時や落雷の恐れがあるとき**
- **急傾斜地や足元が不安定で滑りやすい場所**
- **夜間や視界が悪い場所**

転落や滑落、誤った操作などにより、事故や重傷を負う原因となります。

事故やケガへの備え

❍ 事故やケガに備え、下記の用具を用意してください。

- **救急箱（応急手当用）**
- **タオルや手ぬぐい（止血用）**
- **呼子や携帯電話（外部との連絡用）**



応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化する恐れがあります。

発火・発煙・火災への備え

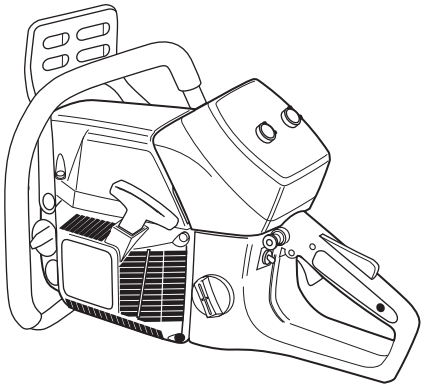
❍ 発火・発煙・火災に備え、消火器やシャベルを用意してください。
❍ エンジンから発火または排気口以外から発煙したら、身体から製品を離し、身体の安全を確保してください。
❍ 周囲に類焼しないようにシャベルで砂を掛けるか、消火器で消火してください。

あわてて対処しようとすると、火災やその他の傷害の拡大につながります。

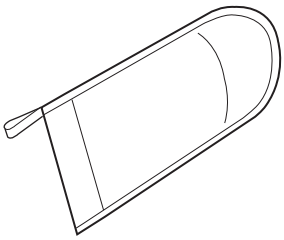
1. 付属品の確認

❍ 欠品や破損などがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

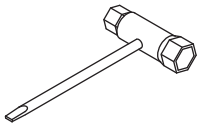
本体



チェーンカバー



ソケットレンチ
13×19



ドライバー



3 ㎜レンチ



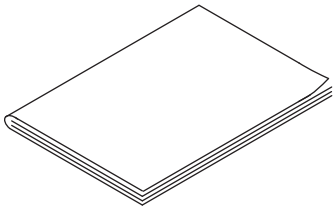
4 ㎜レンチ



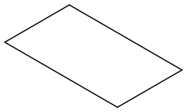
5 ㎜レンチ



取扱説明書



保証書

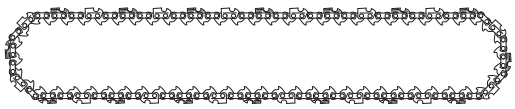


ガイドバーおよびソーチェーンは別梱包です。

ガイドバー



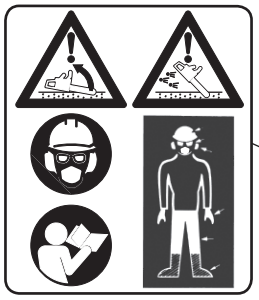
ソーチェーン



2. 各部の名称と警告表示ラベル

❍ 本書で説明している製品の、各部の名称および警告表示ラベルを示しています。
ご使用前に各部の名称およびラベルの意味を理解してください。
❍ ラベルが摩滅したり破損して内容が確認できなくなった場合や、はがれて紛失した場合は、販売店からラベルを購入し、下図に指示してある箇所に貼り、常にラベルが確認できる状態にしてください。

部品番号；X505-003910



3. 作業の準備

3-1. ガイドバーとソーチェーンの取り付け

⚠ 警告

❍ **取扱説明書をよく読んで、正しく取り付けてください。**

誤った取り付け方をするとガイドバーからソーチェーンが外れ、重傷を負う原因となります。



❍ **チェーンキャッチャが、確実に取り付けられていること、亀裂や破損してないことを確認してください。ソーチェーンが切れたときやガイドバーから外れたときに作業者を保護します。**

切れたり、外れたりしたソーチェーンにより、重傷を負う原因となります。

⚠ 注意

❍ **指定したガイドバーとソーチェーンを使用してください。（25 ページの「仕様」、26 ページの「補用品と消耗品」を参照）**

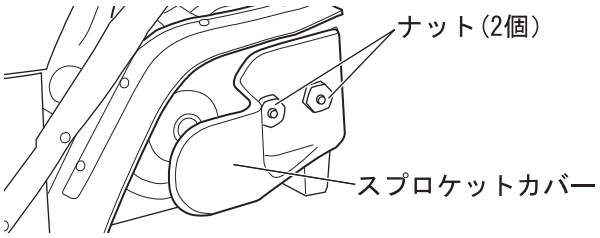
キックバックが起きやすくなり、ケガを負う恐れがあります。

❍ **手袋を着用してソーチェーンを取り付けてください。**

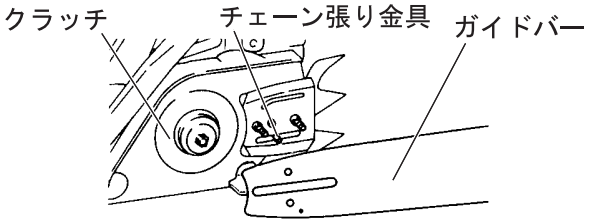
ケガや火傷を負う恐れがあります。

❍ **ソーチェーンの目立ての状況を点検してください。（18 ページの「ソーチェーンの目立て」を参照）**

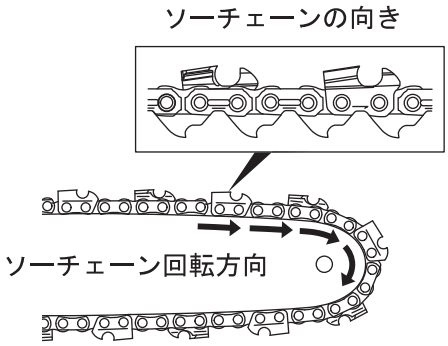
切れ味の鈍ったソーチェーンは横滑りを起こしやすく、ケガを負う恐れがあります。



1. スプロケットカバー取り付け用のナット(2 個）を付属のソケットレンチを使って外し、スプロケットカバーを外してください。

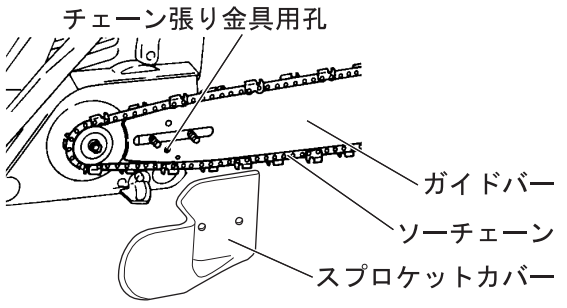


2. ガイドバーをソーチェーンが入りやすいようにクラッチ（スプロケット）側によせて入れてください。

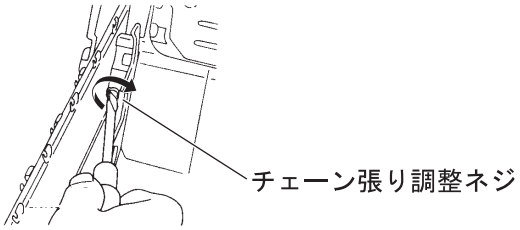


3. ソーチェーンの向きを左図のようにしてクラッチ（スプロケット）の方からはめ、それからガイドバーの先端に向かってはめてください。

＊ 新品のソーチェンを使用する場合、使用前に一晩オイルにつけておくか、本体に取り付けた状態でソーチェンにオイルをなじませてからエンジンを始動させてください。



4. チェーン張り金具をガイドバーの孔に入れてから、スプロケットカバーを取り付けてください。(チェーン張り金具が入らないときは、チェーン張り調整ネジを右または左に回して合わせてください)



5. スプロケットカバー取り付け用のナット (2 個) を軽く締めてください。(チェーン張り金具が外れずガイドバーが動く程度。)
6. ガイドバーの先端を持ち上げて、チェーン張り調整ネジを矢印（右方向）の方向に回してソーチェーンを張ってください。

＊ チェーン張り金具がガイドバーの孔に適正にセットされていない場合は、チェーン張り調整ネジを回してもソーチェーンは張れません。

3-2. ソーチェーンの適正な張り

⚠ 注意

❍ **ソーチェーンの張りを確認するときは、必ず手袋を着用してください。**

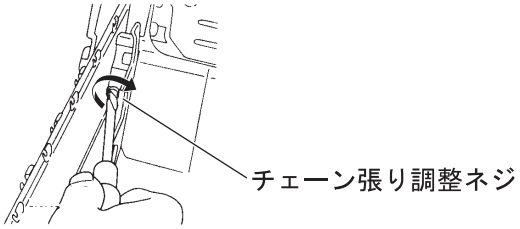
ケガや火傷を負う恐れがあります。

❍ **ソーチェーンの張りは作業中にも点検し、必要に応じて再調整してください。その場合は必ずエンジンを停止し、エンジンが冷えてから点検してください。特に新しいソーチェーンは伸びが著しく、非常に外れやすくなるので、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。**

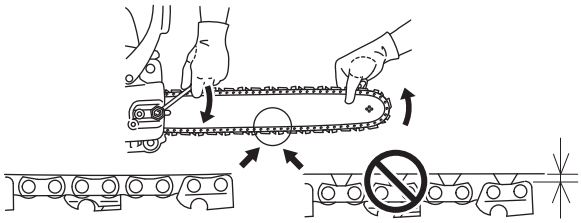
張りがゆるい状態で使用するとガイドバーから外れやすくなり、ケガを負う恐れがあります。

重要

❍ 使用中にソーチェーンがたるんだ場合は、スプロケットカバー取り付け用のナット（2 個）を 1 回転ゆるめた後、指で締めた状態で張りを調整してください。



1. ガイドバーの先端を持ち上げ、チェーン張り調整ネジを矢印の方向に回し、ソーチェーンがバー下側に接触する程度に調整してください。



2. ガイドバーの先端を持ち上げたまま、付属のソケットレンチで 2 個のナットをしっかり締め付けてください。その後ソーチェーンが手で動くことを確認してください。

■ソーチェーンの初期伸び

❍ 新品のソーチェーンは初期伸び（部品同士がなじむまでに起こる全長が長くなる現象）が著しく、そのままお使いになると非常に外れやすい状態になり、怪我を負う恐れがあります。

❍ 新品のソーチェーンをお使いになる際は、頻繁に張りの確認と調整を行ってください。

＊ 1 度外れてしまったソーチェーンは変形や破損している恐れがあるためお使いにならないでください。

3-3. 燃料の準備

⚠ 危険

❍ **燃料はエンジンを停止し、エンジンが冷えてから補給してください。**
❍ **補給中にタバコを吸ったり、火気を近づけたりしないでください。**

燃料に引火して火災を起こしたり、火傷を負うことになります。



⚠ 警告

❍ **燃料補給前に製品および補給用タンクを地面に数分間置くなどして、帯電している静電気を逃がしてください。作業者自身も手のひらを地面や金属に押し当てて、静電気を逃がしてください。**

静電気が燃料に放電して、火災の原因となります。

❍ **燃料は風通しの良い場所で、製品と補給用タンクを地面に置いて補給してください。トラックの荷台の上などでは補給しないでください。**
❍ **燃料タンクには外気との間に圧力差が生じています。燃料タンクキャップはゆっくりと開けてください。**
❍ **燃料を燃料タンク口元まで入れないでください。**
❍ **燃料が少しでもこぼれたら必ず拭き取ってください。ただし湿度が低いときは、乾いた布で拭くと静電気を帯びやすいので、水を湿らせた布で拭き取るようにしてください。**
❍ **燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れやにじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。**
❍ **補給用タンクは火気のない日陰に置いてください。**

燃料に引火して火災や火傷の原因となります。

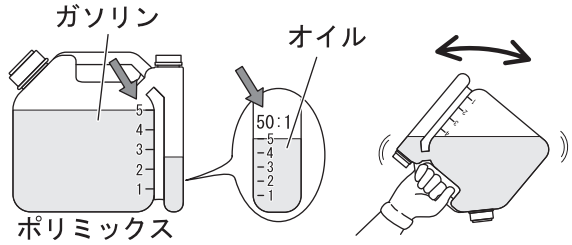
❍ **燃料を運搬する際は鋼板製のガソリン携行缶を使用してください。**
❍ **余った燃料は鋼板製のガソリン携行缶で保管してください。**

ポリ容器での運搬や保管は火災の原因となります。

重要

❍ この製品に使用する燃料は、レギュラーガソリンと2サイクルエンジンオイルを混合した「混合燃料」です。アルコール混入燃料は、ゴム製部品の劣化を早めるので使用しないでください。
❍ 混合燃料は劣化しやすいので、使用する分量だけ混合してください。
❍ 余った燃料の保管期間は1ヶ月程度としてください。

■燃料の混合



ポリミックス（別売品）を使用して
よく混合してください

- 最良の性能を得るには、やまびこ純正 2 サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される 2 サイクルエンジン用として特別に製造されています。（混合比 50:1）
- やまびこ純正 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、高品質の空冷エンジン用 2 サイクルオイル（JASO 性能分類「FD」のオイル、混合比 50:1）を使用することができます。オイルを選択する場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

ガソリンと2サイクルエンジンオイルとの混合比

ガソリン (L)	2サイクルエンジンオイル (mL)	
	[50:1]	[20:1] 20 時間まで
2	**40**	**100**
4	**80**	**200**
5	**100**	**250**

＊ 指定以外のオイルや混合比は、エンジン不調の原因となります。
＊ 新品時 20 時間までは 20:1 の割合で混合したものを必ず使用してください。20 時間経過後は 50:1 のものを使用してください。

■燃料の補給

燃料タンクのキャップを開け、手動式の燃料補給ポンプで混合燃料を入れてください。
補給後は、燃料タンクキャップを確実に締め付けてください。

3-4. チェーンオイルの準備

重要
❍ 運転中ソーチェーンにオイルを与えるのは、ソーチェーンとガイドバーとの摩擦を少なくし摩耗を防ぐためと、ソーチェーンへの樹脂の付着を防ぐためです。 ❍ 廃油、再生油は故障の原因になるので使用しないでください。



やまびこ純正チェンオイル



やまびこ生分解性
チェンオイル
（エコグリーンオイル）



エコマーク認定番号
第09110004号
株式会社やまびこ

1. チェーンオイルタンクのキャップを開け、オイルタンクに補給してください。
   補給後は、オイルタンクキャップを確実に締め付けてください。

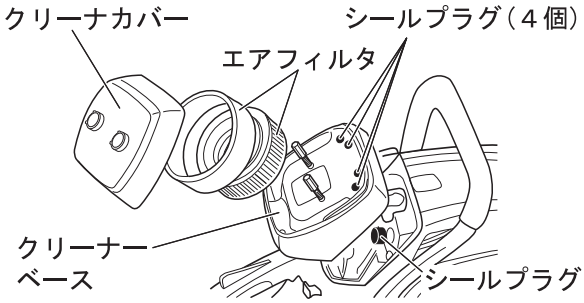
チェーンオイルにはやまびこ純正チェンオイル、またはやまびこ生分解性チェンオイル（エコグリーンオイル）を使用してください。

＊ やまびこ生分解性チェンオイルは、自然にやさしい高い分解性能と製品にやさしい高い潤滑性能を兼ね備えたオイルです。
＊ 燃料を補給するときは、同時にチェーンオイルもオイルタンクに補給してください。

3-5. ウインターキット

重要
❍ 通常の気温で使用するときは、シールプラグを元の位置に戻してください。 そのまま使用するとエンジンのオーバーヒートやキャブレター不調の原因となります。 外気温 0 ℃以下が組み替えの目安です。

寒冷時での使用の際にキャブレタ（気化器）の不調を防止するため、下記の操作をしてください。
取り外したシールプラグは紛失しないようにしてください。



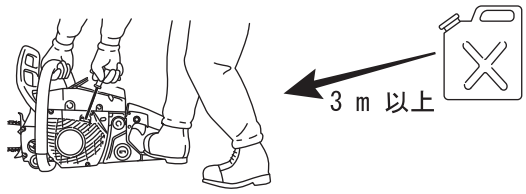
1. クリーナカバー、エアフィルタ、クリーナベースを取り外してください。
2. クリーナベースのシールプラグ４個とシリンダカバーのシールプラグを取り外してください。
3. クリーナベース、エアフィルタ、クリーナカバーを元に戻してください。

4. 運転

4-1. エンジンの始動

⚠ 警告

❍ **燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。**
エンジンを始動する前に、燃料を補給した場所から 3 m 以上移動してください。
燃料補給時の漏れた燃料に引火し、火災の原因となります。



❍ **エンジンを始動するときは、特に次のことを守ってください。**
- **製品を平坦で通気の良い、可燃物のない場所に置く**
- **燃料が漏れていないか確認する**
- **チェーンカバーを外す**
- **各部を点検し、製品の損傷やボルト・ナット類にゆるみがないことを確認する**
- **周囲は広くとり、人や動物を近づけない**
- **ソーチェーンが地面や障害物と接触していないことを確認する**
- **製品をしっかりと押さえて始動する**

火災を起こしたり、キックバックや飛散物などにより、重傷を負う原因となります。

❍ **アイドリング時のエンジン回転数が通常より高くなる状態（ラッチ状態）でエンジンを始動するとソーチェーンが回り始めるので、注意してください。**
ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

❍ **エンジンの排気ガスには有毒なガスが含まれています。屋内など通気の悪い場所では製品を運転しないでください。**
排気ガスによる中毒事故の原因となります。



❍ **エンジンが始動したら、異常振動・異常音が発生していないかを確認してください。**
異常がある場合は直ちにエンジンを停止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
部品の脱落、飛散などにより、重傷を負う原因となります。

❍ **スロットルトリガが低速の位置にあってもソーチェーンが動く場合は、キャブレタを調整してください。**
（21 ページ参照）
ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

❍ **製品の運転中および停止後しばらくの間は、シリンダカバー、マフラ、ガイドバー、ソーチェーンなどの高温部に触れないでください。**
高温部に触れると火傷します。



❍ **製品の運転中、スパークプラグ、プラグコードなどの高電圧部に触れないでください。**
運転中に高電圧部に触れると感電します。



⚠ 注意

❍ **ハンドルにオイルや燃料が付着したときは、拭き取って清潔な乾燥状態を保ってください。**
手が滑りケガを負う恐れがあります。

重要

❍ スタータグリップを引くときは、まず軽く引き出しさらに素早く引いてください。引きヒモの 2/3 以上は引き出さないでください。スタータグリップを戻すときは、途中で手を離さないでください。

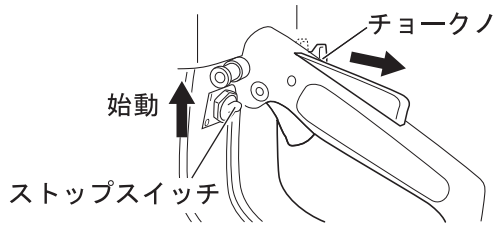
4. 運転

■冷えたエンジンの始動

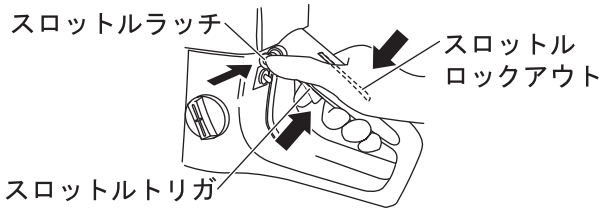


長期保管後に使用するときは、スパークプラグキャップを接続してエアクリーナカバーを取り付けてください。

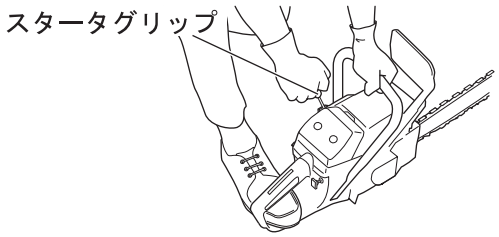
1. 混合燃料、チェーンオイルがそれぞれのタンクに入っていることを確認してください。



2. ストップスイッチを始動位置にしてください。
3. チョークノブを引いてください。

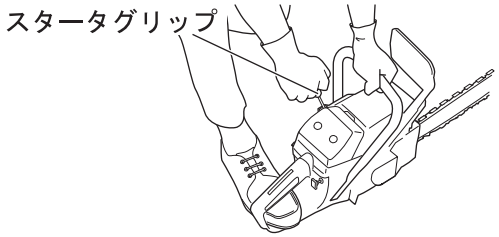


4. スロットルロックアウト（スロットルトリガの誤操作を防ぐ安全装置）を押しながらスロットルトリガを引き、スロットルラッチを押し込み、エンジン始動後アイドリング時のエンジン回転数が高くなる状態（ラッチ状態）にしてください。
   * スロットルトリガは、スロットルロックアウトを押さないと引けないようになっています。

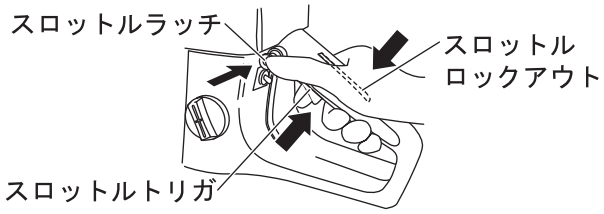


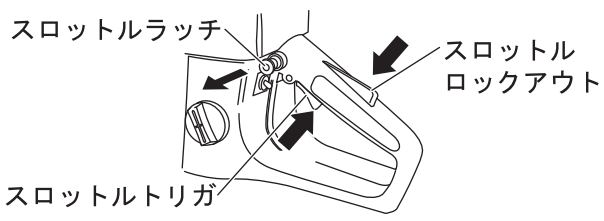
5. 製品を左図のように押さえ、スタータグリップを最初の爆発音がするまで数回引いてください。
6. 爆発音がしたらチョークノブを元に戻し、スタータグリップを引いて、エンジンを始動してください。
   * チョークノブを戻さないままスタータグリップを引き続けると、燃料を吸い込みすぎてエンジンが始動しにくくなります。
7. 始動後は、スロットルロックアウトを押しながらスロットルトリガを少しだけ引いて、ラッチ状態を解除してください。

■暖まっているエンジンの始動



1. 14 ページの「冷えたエンジンの始動」の手順 1 から 2 を実行してください。
2. チョークを使用せずスタータグリップを引いてください。

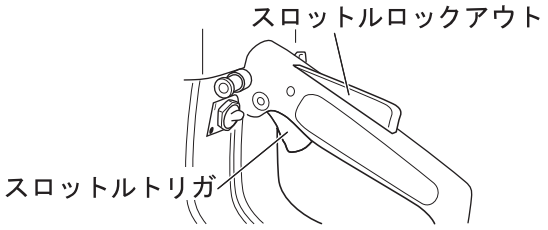


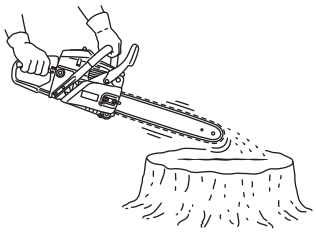


* エンジンが始動しにくい場合
  （1） スロットルロックアウトを押しながらスロットルトリガを引き、スロットルラッチを押し込み、エンジン回転数が通常より高くなる状態（ラッチ状態）にセットしてください。
  （2） スタータグリップを引いてください。
  （3） 始動後はすぐにスロットルロックアウトを押しながらスロットルトリガを少しだけ引いてエンジン回転数が通常より高くなる状態（ラッチ状態）を解除してください。
* 始動しない場合は「冷えたエンジンの始動」の手順で始動操作をしてください。

4. 運転

■エンジンの暖機運転





重要

- エンジン回転数が約3,500 r/minでクラッチインし、ソーチェーンは回り始めます。
- スロットルトリガを指で引く際には、左手でフロントハンドルを、右手でリヤハンドルを握ってください。

1. 始動したら、数分間低速運転をしてください。
   * スロットルロックアウトを押しながらスロットルトリガを徐々に指で引いてください。エンジンの回転が徐々に上がります。
2. ソーチェーンの給油状況を確認してください。

* チェーンオイルはエンジンを始動させると自動的にソーチェーンに給油されます。
  切り株などの乾燥した面の上で、面に触れないようにして数秒間エンジンの回転を上げ（中速）、チェーンオイルの細い線が面に付くことを確認してください。

3. スロットルトリガから指を離してください。スロットルトリガが戻りソーチェーンの回転が停止します。

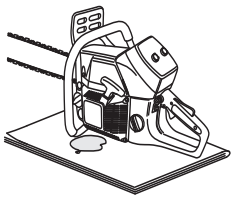
4-2. エンジンの停止

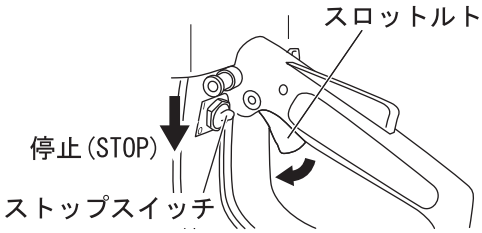
⚠ 警告

- **エンジン停止後もマフラが熱いので、可燃物のない場所に置いてください。**
  火災の原因となります。

重要

- **チェンソー使用後はチェーンオイルがチェンソー本体下に垂れてベタベタになることがありますが、異常、故障ではありません。**
  周囲の気圧や温度の影響により、使用後や保管時に吐出口や空気取入口からチェーンオイルが流れ出ることがあります。
- **チェンソーを置く、もしくは保管する場合は、ウエス（汚れなどをふき取る布）や古新聞、ビニールなどを本体下に敷くことで周囲へのオイル付着予防になります。**





スロットルトリガから指を離し、ストップスイッチを停止（ＳＴＯＰ）位置にしてください。

* エンジンが停止しないときは、チョークノブを引いてください。エンジンは失速し停止します。(応急停止：チョークストップ)
  ストップスイッチでエンジンが停止しなかった場合は、製品を再び使用する前に、お買い求めの販売店にストップスイッチの点検と修理を依頼してください。

5. 根切り作業

⚠ 警告

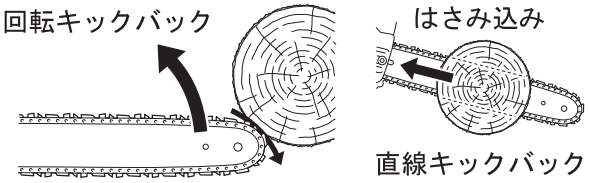
キックバックに注意



❍ 作業中にソーチェーンの先端が、木材、石などに接触した場合や、ソーチェーンが根にはさまれた場合に、キックバックが発生することがあります。作業をしている場所には、他の木材や切り株などの障害物がないことを確認してください。また必ず両手でハンドルを握ってください。

ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

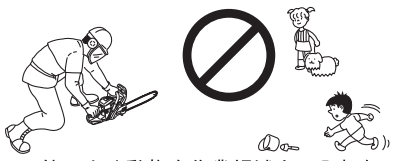
- 回転キックバック：ガイドバー先端の接触が瞬間的にキックバックを引き起こし、ガイドバーが作業者の方向に跳ね返って来ます。
- 直線キックバック：ガイドバーが根にはさまれてソーチェーンが動かなくなったとき、エンジンの回転を上げると急に後方に押し出されます。



第三者の立ち入り禁止

❍ 作業中に他の人や動物などを作業領域内へ入れないでください。

飛散物やキックバックなどにより、重傷を負う原因となります。



無理な姿勢での作業禁止

❍ 足元をしっかりさせバランスを保ち、安定した姿勢で作業をしてください。

転倒や誤った操作などにより、事故や重傷を負う原因となります。

片手使用禁止

❍ 製品は必ず両手でハンドルを握って操作してください。

片手で操作すると製品をコントロールできず、ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。



ラッチ状態での作業禁止

❍ エンジン始動後アイドリング時のエンジン回転数が通常よりも高くなる状態（ラッチ状態）で作業をしないでください。

ソーチェーンに接触し、重傷を負う原因となります。

近接作業の禁止

❍ 他の作業者との間に十分な距離を保ってください。
❍ 二人以上で作業する場合は、お互いに呼子などで合図のしかたを決めて作業してください。

飛散物により、重傷を負う原因となります。

作業中断時はエンジン停止

❍ 作業を中断し製品を下に置く前に、エンジンを停止してください。

スロットルトリガ部に木の枝などが進入し、エンジン回転が上昇することがあります。

❍ 作業を中断し製品を下に置く場合は、可燃物のない場所に置いてください。

火災の原因となります。

移動時はエンジン停止

❍ 作業を中断して移動する場合は、エンジンを停止してチェーンカバーを装着してください。また、ソーチェーン側を後側にして持ち、マフラは身体から離してください。

火傷や重傷を負う原因となります。

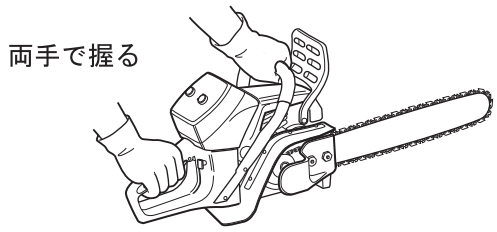
❍ 車で運搬する場合は燃料タンクから燃料を抜いて、チェーンカバーを装着し、製品が動かないようにしっかり固定してください。

燃料を入れたまま車で移動すると、火災の原因となります。

5. 根切り作業

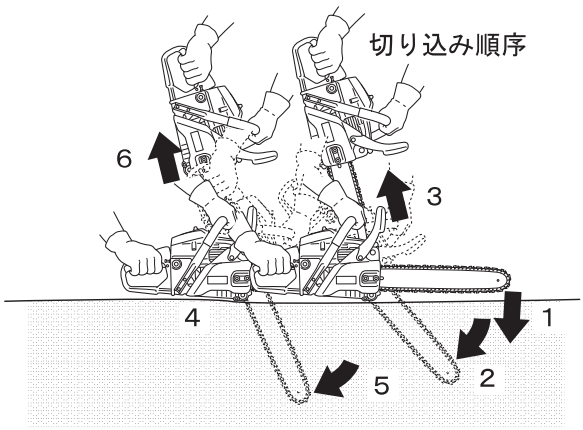
重要

- ガイドバー先端部から地面の中に突っ込む方式で使用しないでください。
- ガイドバーが地面の中にある間はスロットルトリガを指でいっぱいまで引いてください。
- ソーチェーンが止まらないようにフロントハンドルの押さえつけを加減してください。
- ガイドバーを抜くときもスロットルトリガをゆるめずに、素早く抜いてください。
- 刃の損傷など様々な故障の原因となりますので、無理に押さえつけないでください。

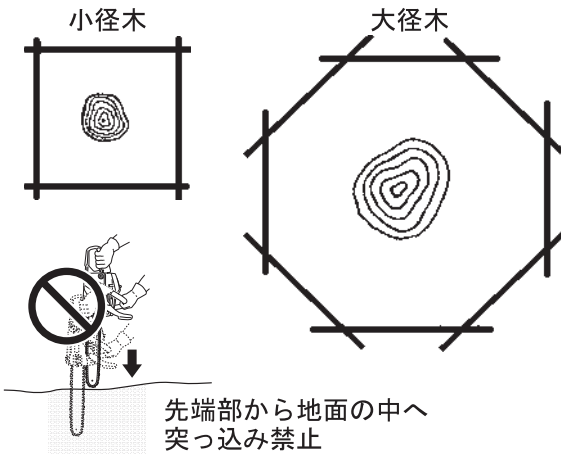


この製品は一人で操作するものですが、助けが必要な場合に備え、呼べる程度の近い場所に他の作業者がいるようにしてください。

製品の左側に立って、左手はフロントハンドル、右手はリヤハンドルを握り、右手の人差し指でスロットルトリガを引いてください。



1. エンジンを始動し、正常に運転されていることを確認してください。
2. 製品を地面に置いて、リコイルスタータ側に平行に立ってください。
3. そのまましゃがみこみ、左手でフロントハンドルを、右手でリヤハンドルを持ちます。
4. 中間回転速度で空運転し、ガイドバーにチェーンオイルが行き渡るのを確認してください。
5. スロットルトリガを指でいっぱいまで引き、左手でフロントハンドルを軽く押さえ、右手で本体を持ち上げるようにして図の１～６の順に地面の中へ切り込んでください。この方法が一番楽な姿勢で、後方へ飛ぶ掻き上げられた土砂も身体にかかりません。



6. 木の大きさに合わせて、図のように根回しをしてください。
7. ガイドバー、ソーチェンの異常摩耗、焼き付きを防ぐため、常にチェーンオイルが出ていることを確認して作業を行ってください。
   チェーンオイルが無くなったら直ぐにオイルを補給してください。

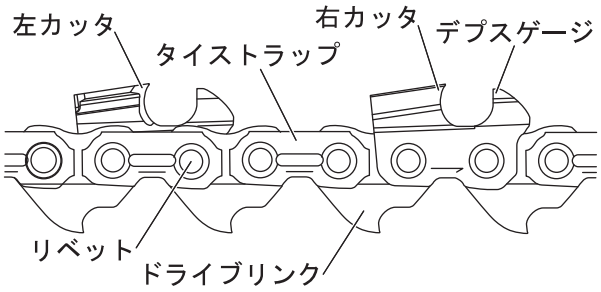
6. 点検・整備

6-1. ソーチェーンの目立て

⚠ 注意
❍ **エンジンを停止して、エンジンが冷えてから手袋を着用のうえ、目立てをしてください。** ソーチェーンに接触し、ケガを負う恐れがあります。

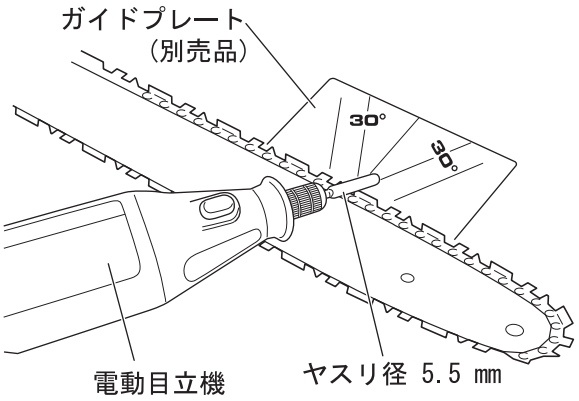
重要
❍ この製品に付属するソーチェーンタイプは、**HG 75 D** か **HG 75 DX, SG 75 D, SG 75 DX** です。 ❍ 目立てには別売品の電動目立機をご使用ください。詳しくはお買い求めの販売店にご相談ください。

■ソーチェーン各部の名称



- デプスゲージ ：カッタの切り込み深さを決めます。
- 右カッタ ：木材を切削するカッタです。
- タイストラップ ：カッタとドライブリンクを結合します。
- 左カッタ ：木材を切削するカッタです。
- リベット ：各部分のつなぎの役目をします。
- ドライブリンク ：スプロケットとかみ合い、動力伝達を受けると共に、ガイドバーの溝にはまりソーチェーン全体のガイドとなります。

■目立て



効率良く使用するために、随時ソーチェーンの目立てをしてください。

5.5mm 径のヤスリを使用し、回転しているヤスリで上方へすり上げるようにして研磨してください。目立て角度は上から見て 30° です。別売りのガイドプレートを使用することで、正しい角度で目立てを行うことが出来ます。

一、二度くり返し、指先で刃の上側をなぞったときにバリを感ずるようであれば目立ては完了です。

ソーチェーンの寿命は土質と木の大きさによって大きく異なりますが、一般的には 10 ～ 15 時間位です。

＊ 電動目立機を使用する前に、電動目立機の取扱説明書をよく読んでください。

6-2. 点検・整備の目安

⚠ 警告

❍ **製品の点検・整備をするときは、エンジンを停止し、エンジンが冷えてからスパークプラグキャップを外してください。**
火傷や、突然の始動による事故の原因となります。

重要

❍ お買い求めいただいた製品を安全にご使用いただくために、定期的に点検・整備をしてください。
❍ 点検・整備には専門的な知識が必要です。ご自分で点検・整備や故障対策ができない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

点検・整備項目	作業前または作業後	作業 100 時間毎	参照ページ
ソーチェーン	（注）○		18
エアフィルタ	○	●	20
燃料フィルタ		○●	20
オイルフィルタ		○●	20
燃料パイプ、燃料系グロメット	○	●	20
燃料タンクキャップガスケット	○	●	20
燃料の残量、劣化	○		-
燃料タンクの清掃		○	20
オイルタンクの清掃		○	20
スパークプラグ		○●	20
キャブレタ		○●	21
シリンダフィン	○		21
マフラ		○●	-
クラッチ		○●	21
エンジンの異常振動	○		-
ガイドバー	○		21
スプロケット	○	●	21
スクリュ、ボルト、ナット	○	●	-
防振ゴム、防振スプリング	（注）○	●	-

○：ご自分で点検・整備してください。

●：製品の性能維持のため、お買い求めの販売店に定期的な点検を依頼し必要に応じ交換してください。

（注）振動障害を予防するために

- **防振ゴムや防振スプリングは、製品のご使用前後に摩耗、亀裂、変形がないか点検してください。**
  異常がある場合、または通常より振動が増えたと感じた場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- **ソーチェーンの目立て具合により振動が増えることがあります。**
  「ソーチェーンの目立て」の項を参照して整備をしてください。

6-3. 点検・整備要領

■エアフィルタの点検



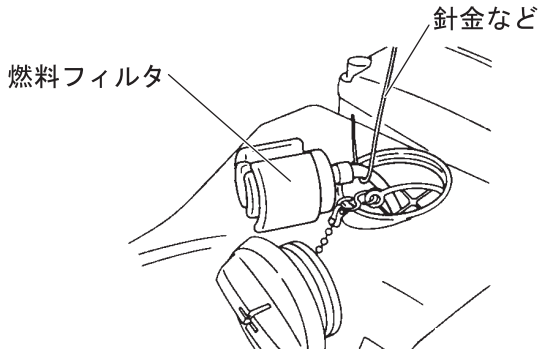
1. チョークノブを引いてから、クリーナカバーつまみをゆるめてエアクリーナカバーを取り外してください。
2. エアフィルタ、エアフィルタ (スポンジ) を取り外してください。
3. 軽くホコリを払うか、歯ブラシなどでゴミを落とし、またエアフィルタが破損している場合は交換してください。
4. 圧縮空気で清掃する場合は、フィルタの内側から外側へ向けて空気を吹き付けて、ゴミやホコリを吹き飛ばしてください。
5. エアフィルタを元の位置に取り付けてください。
6. エアクリーナカバーを取り付け、クリーナカバーつまみを締めてください。

■燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップガスケットの点検

燃料を補給した後、燃料タンクキャップを確実に締め付け、燃料パイプ、燃料系グロメット、燃料タンクキャップ周辺から燃料の漏れ、にじみがないことを確認してください。

＊ 燃料の漏れ、にじみがある場合は直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

■燃料フィルタ、オイルフィルタの点検

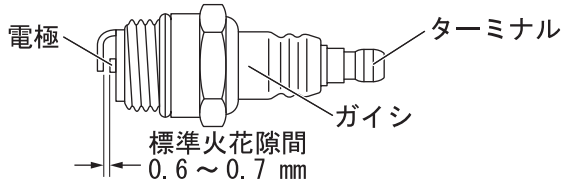


燃料フィルタの詰まりは、エンジン始動の困難・エンジン不調の原因になります。
オイルフィルタが詰まると、ガイドバー、ソーチェーンへのオイル給油が不十分となり、摩耗の原因となります。

1. 針金などを使って給油口からフィルタを引き出し、点検してください。
2. フィルタが汚れていたら交換してください。
3. タンクの内側が汚れていたら、燃料できれいにしてください。
4. 点検後は各タンクキャップを確実に締め付けてください。

＊ タンク内にゴミが入らないようにしてください。

■スパークプラグの点検



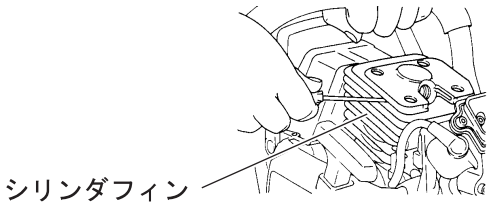
シリンダのプラグ孔付近や、燃料がこぼれたり燃えやすいガスがある場所での発火テストは禁止

1. 付属のソケットレンチ (19 mm) でスパークプラグを外してください。
2. スパークプラグの標準火花隙間は 0.6 ～ 0.7 mm です。標準火花隙間より広すぎたり狭すぎる場合は調整してください。電極の周囲にオイルや堆積物が付いているときは清掃してください。電極やターミナルが摩耗しているときや、ガイシに亀裂がある場合は新品と交換してください。
3. スパークプラグは、付属のソケットレンチでしっかり締め付けてください。
   参考：締め付けトルクは 15 ～ 17 N・m（150 ～ 170 kgf・cm）です。

＊ スパークプラグの火花を確認する発火テストは、お買い求めの販売店に依頼してください。

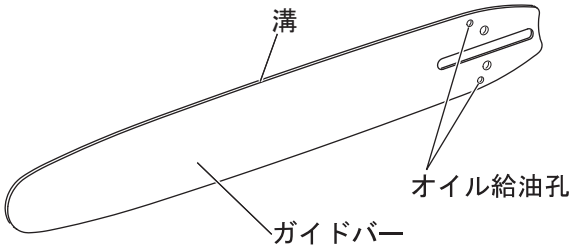
6. 点検・整備

■シリンダフィンの点検

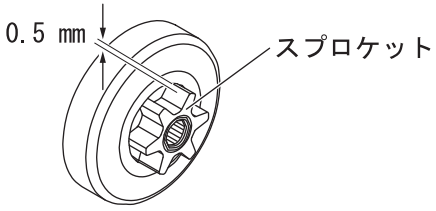


シリンダフィンにゴミが詰まるとエンジンの冷却効果が悪くなります。シリンダフィンの間のゴミやホコリを取り除いて冷却風の通りを良くしてください。

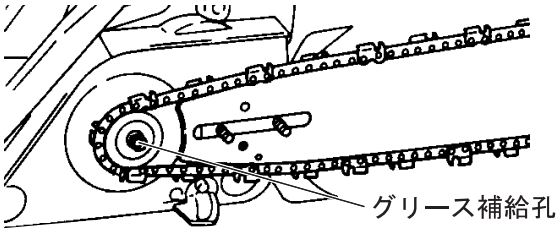
■ガイドバーとスプロケットの点検



1. 小型ドライバなどを使ってガイドバーの溝を清掃してください。
2. オイル給油孔を針金などできれいにしてください。
3. ガイドバーを定期的に裏返してください。
4. ガイドバーを取り付ける前に、スプロケット、クラッチを点検し、ガイドバー取り付け部をきれいにしてください。異常がある場合は修理を依頼してください。

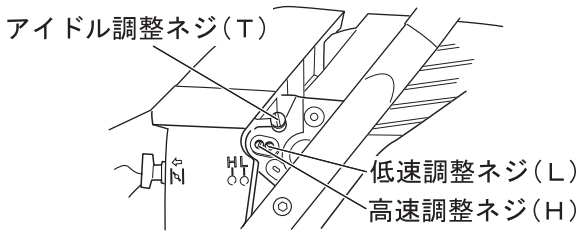


5. スプロケットにヒモや草が巻きついていないか点検してください。巻きついているときは取り除いてください。
6. スプロケットが摩耗すると、ソーチェーンの損傷や摩耗を早めます。新しいソーチェーンに交換するときはスプロケットを点検し、0.5 mm 以上摩耗したら交換してください。



7. グリース補給孔から純正グリースを補給してください。

■キャブレタの点検

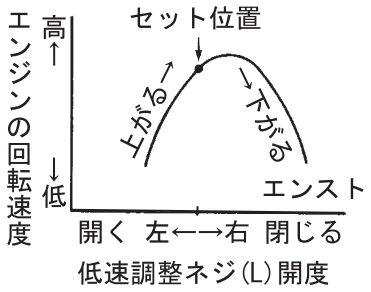


必要に応じて、キャブレタを次のように調整してください。

1. アイドリング時にソーチェンが回転しないようにアイドル調整ネジ（T）でエンジン回転速度を下げます。エンジンが 2500±200r/min で安定して回転するようにアイドル調整ネジ（T）を調整してください。右に回すと回転速度が上がります。

2. 調整ネジを軽く締まり切るまで右に回し、下記の回転だけ左に戻した開度が標準開度です。
   - 低速調整ネジ（L）: 1 ± 1/4 回転
   - 高速調整ネジ（H）: 1 ± 1/4 回転

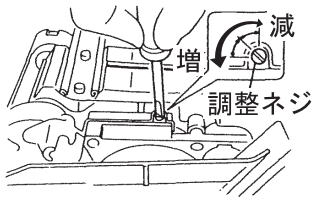
* 高速調整ネジ（H）を 3/4 開度（全閉にしたところから 3/4 回転）未満にすると燃料が薄くなり、焼きつく恐れがありますので、戻し開度は 3/4 以上にしてください。



3. 低速調整ネジ（L）は以下の手順を参考に調整してください。
・アイドリングの回転速度調整をおこなった後、低速調整ネジ（L）を左方向または右方向にゆっくり回してみて、エンジンの回転速度が上がる方向に回していきます。さらにそのまま回し続けるとエンジン回転速度が低下していきます。
・エンジン回転速度が低下するところから約 1/4 回転左方向に戻してセットしてください。この調整により、アイドリング回転は最初のセット時より回転速度がかなり変化しています。
・再度アイドル調整ネジを調整して、エンジン回転速度を 2500±200r/min にセットしてください。
・これを 2 ～ 3 回くり返すと、最適の低速エンジン回転速度に調整できます。

4. 高速調整ネジ（H）はキャブレターの標準開度 (1±1/4) の範囲内で実際に木を切断してみて、もっとも力があり、よく切れるところにセットしてください。

■チェーンオイル吐出量の調整



必要に応じて、本体下部の調整ネジでチェーンオイルの吐出量を調整してください。

1. 吐出量を増す場合は調整ネジを左に回してください。調整ネジがストッパーに当たって止まった位置で最大吐出量が得られます。
2. 調整の上限と下限を越えて、調整ネジを回さないでください。

7. 保管

⚠ 警告

❍ **燃料ガスが充満している密閉された場所や、裸火、火花のあるそばに保管しないでください。**
火災の原因となります。



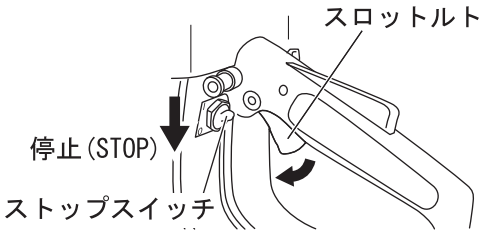
❍ **製品を長期間（30 日以上）にわたって保管する場合は、下記の手順で整備をしてください。**

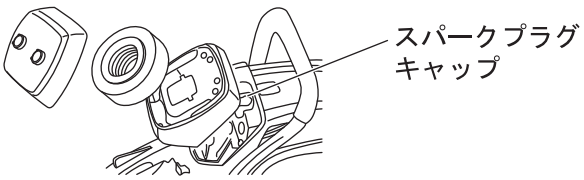
重要

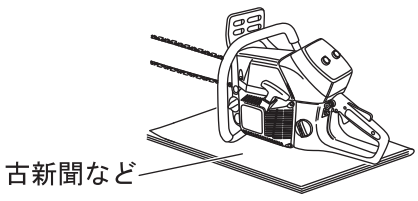
❍ **やまびこ生分解性チェンオイルは経時により固くなる傾向があるため、使用したときはオイルタンクからオイルを抜き取ってください。その後、従来のやまびこ純正チェンオイルをタンクに入れ、エンジンを始動し、配管内にオイルを通し、再度オイルタンクからオイルを抜いて保管してください。**
オイルポンプ破損の原因となります。

❍ **気圧や温度の影響によりチェーンオイルがチェンソー本体下に垂れることがありますが異常、故障ではありません。保管する場合は、ウエス（汚れなどをふき取る布）や古新聞、ビニールなどを本体下に敷くことで周囲へのオイル付着予防になります。**









1. 燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。
2. エンジンを始動し、自然に停止するまで運転してください。
   * チョークノブを引いて（ラッチ状態）始動した場合は、スロットルロックアウトを押しながらスロットルトリガを少しだけ引いて、すぐ指を離してください。ラッチ状態が解除され低速状態になります。
3. オイルタンク内のチェーンオイルを抜き取ってください。
4. ストップスイッチを停止位置にしてください。
5. 製品の外側に付いたグリース、オイル、ホコリ、ゴミなどをきれいに拭き取ってください。
6. 本書に定められた定期的な点検をしてください。
7. スクリュ、ナット類が締まっているか確認してください。ゆるんでいる場合は、増し締めしてください。
8. スパークプラグを外し、適量（10 mL 程度）の2サイクルエンジンオイルをシリンダに入れてください。
9. スパークプラグの取り付け穴の上にきれいな布を掛けてください。
10. スタータグリップを数回引いて、エンジンオイルをシリンダ内に行き渡らせてください。
11. スタータグリップをゆっくり引き、ピストンが最も上のところで止まるようにしてください。
12. スパークプラグを取り付けてください。
    (スパークプラグキャップは接続しないで、はさまないようにエアクリーナカバーを取り付けてください)
13. チェーンカバーを装着し、子供の手の届かないホコリの少ない乾燥した場所に保管してください。

8. 故障対策

8-1. 故障診断表

重要
❍ 補用品や消耗品は必ず純正部品または指定品を使用してください。 純正または指定以外の部品を使用すると故障の原因となる場合があります。

故障内容	故障診断	原因	対策
エンジンが始動しない	キャブレタに燃料がない	燃料が入っていない	燃料補給
		燃料フィルタの目詰まり	清掃か交換
		燃料系統の目詰まり	販売店へ依頼
		キャブレタ不良、内部固着	販売店へ依頼
	キャブレタに燃料がある	ストップスイッチが停止位置	始動位置にする
		燃料の変質	新しい燃料と交換
		燃料の吸い込みすぎ	スパークプラグの乾燥
		電気的障害	販売店へ依頼
		エンジン内部の故障	販売店へ依頼
エンジンが始動しにくい、また回転が変動する	キャブレタに燃料がある	燃料の変質	新しい燃料と交換
		キャブレタ不良	販売店へ依頼
	スパークプラグが汚れている、または濡れている	燃料の変質	新しい燃料と交換
		電極の火花隙間が正しくない	調整か交換
		カーボンが付着している	清掃か交換
		電気的障害	販売店へ依頼
エンジンは始動するが加速できない		エアフィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料フィルタの汚れ	清掃か交換
		燃料通路の詰まり	販売店へ依頼
		キャブレタ調整不良	調整
		排気口、マフラ出口の詰まり	清掃か販売店へ依頼
エンジンが停止する		キャブレタ調整不良	調整
		電気的障害	販売店へ依頼
エンジンが停止しない		ストップスイッチ不良	応急停止後販売店へ
アイドリング状態でソーチェーンが動く		キャブレタ調整不良	調整
		クラッチ破損	販売店へ依頼
		スプロケットの異物かみこみ	清掃
切れ味の低下		ソーチェーンの摩耗	ソーチェーンの目立て
		ガイドバーの摩耗	販売店へ依頼
		クラッチの摩耗	販売店へ依頼

＊表中に記載されていない故障など、ご不明な点は販売店にご相談ください。

8-2. 製品の廃棄

❍ 製品や部品を廃棄するときは、お買い求めの販売店に相談するか、自治体の指導に従ってください。

9. 仕様

区　分	項　目	単　位	仕　様 **E757RC**
寸　法	長　さ	mm	425
	幅		300
	高　さ		305
質　量		kg	6.8
エンジン	形　式	ー	空冷２サイクル単シリンダ
	排　気　量	cm^3	73.5
	キャブレタ	ー	ダイヤフラム式
	マグネト	ー	フライホイールマグネト電子点火方式
	スパークプラグ	ー	チャンピオン　CJ6Y
	始　動　方　法	ー	リコイルスタータ
	動 力 伝 達 方 法	ー	自動遠心クラッチ
燃　料	混　合　比	ー	[レギュラーガソリン：2 サイクルエンジンオイル］= [50:1] やまびこ純正２サイクル専用オイル
	タンク　容　量	mL	770
オイル	チェーンオイル	ー	やまびこ純正チェンオイル、やまびこ生分解性チェンオイル
	タンク　容　量	mL	360
	給　油　方　式	ー	自動給油

ガイドバー			ソーチェーン			
ガイドバータイプ	長　さ cm	ゲージ mm	チェーンタイプ	ピッチ mm	ゲージ mm	リンク数
U40H75-60AAN SD	40	1.60(0.063)	**HG75D**	9.53(3/8)	1.60(0.063)	60
			SG75D			
U50H75-72AAN SD	50		**HG75DX**			72
			SG75DX			

その他の装置	フロントハンドガード、リヤハンドガード、チェーンキャッチャ、防振装置、 スロットルロックアウト

（寸法；ガイドバー・ソーチェーン除く）
（質量；ガイドバー・ソーチェーン・燃料・オイル除く）

*1この仕様は予告なしに変更することがあります。
*2やまびこ純正 2 サイクルエンジンオイルが入手できない場合は、高品質の空冷エンジン用 2 サイクルオイル (JASO 性能分類「FD」のオイル、混合比 50:1) を使用することができます。

10. その他

10-1. 補用品と消耗品

部品名称	部品番号	備考
カットチェーン	X264-000030	HG75D60E-30
ガイドバー	X104-000121	U40H75-60AAN SD
カットチェーン	X264-000080	SG75D60E-30
ガイドバー	X104-000121	U40H75-60AAN SD
カットチェーン	X266-000031	HG75DX72E-36
ガイドバー	X106-000041	U50H75-72AAN SD
カットチェーン	X266-000080	SG75DX72E-36
ガイドバー	X106-000041	U50H75-72AAN SD
スパークプラグ	159017-16431	CJ6Y
ポリミックス	X624-000010	2 L 燃料混合用
ポリミックス	B202-0001500	5 L 燃料混合用
やまびこ純正 2 サイクルエンジンオイル ブルーシールド 50:1 JASO 性能分類 FD	X697-000281	100 mL
	X697-000291	400 mL
	X697-000301	1 L
	X697-000311	4 L
チェーンオイル	X697-000120	4 L
エコグリーンオイル　4 L	X697-000141	生分解性チェンオイル　4 L
エコグリーンオイル　18 L	X697-000131	生分解性チェンオイル　18 L

メ　モ

株式会社やまびこ

〒 198-8760 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0120-176-181(製品・技術的な問い合わせ)
受付時間:弊社営業日　9:00～12:00 / 13:00～17:00

やまびこジャパン株式会社

〒 198-0025 東京都青梅市末広町 1-7-2
TEL　　:0428-32-6181 (代)

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

X750394-0906　　2504r 0187 ES
(C) 2016 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。